

農業労働力確保支援事業のご案内

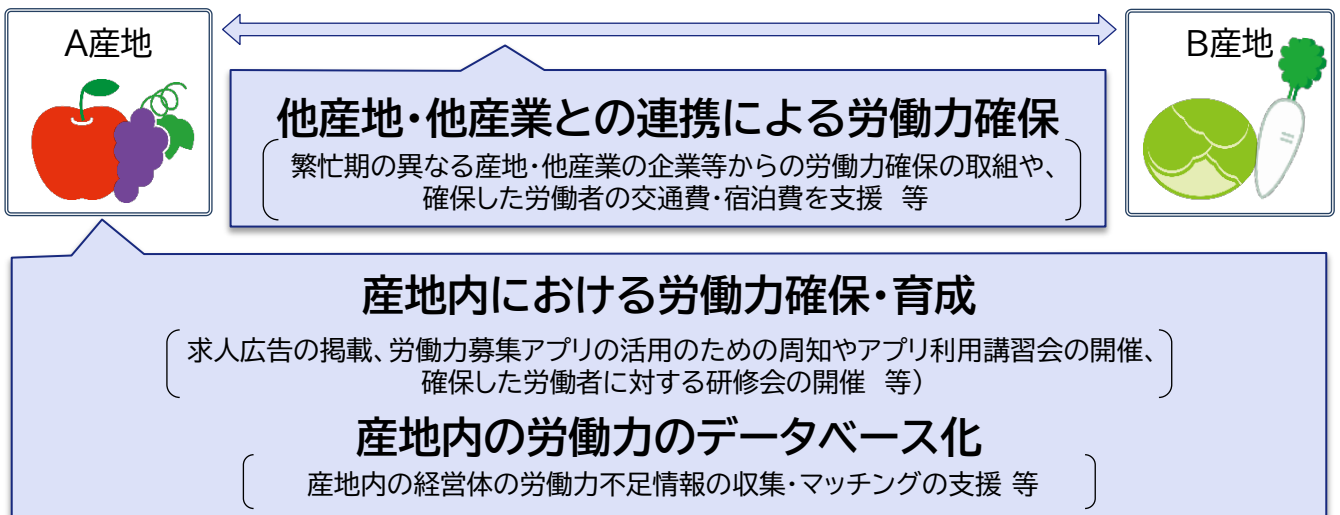
農業現場における労働力不足を解消するために
産地で働き手を受け入れる体制づくりに取り組んでみませんか？

人を呼ぶにしても、
個々の農家では限界がある。
協力して人を集めたい！



農繁期だけ人手がほしい・・・
繁忙期が重ならない他の地域と
人手を融通できないかなあ

労働力不足の解消に向けた
労働力確保の体制構築を支援します！



■ 対象となる事業実施主体

都道府県、市町村、農協、協議会（要件を満たせば既存の協議会でも可）等

■ 補助率・補助金額

定額補助（上限350万円）

※ 他産地・他産業との連携による労働力確保に取り組む場合、上記のほかに
事業開始年度に限り、確保した労働者の交通費・宿泊費を支援
（定額補助。上限1,000万円）

■ 事業実施期間

事業採択年度より最大2年間

【お問合せ先】 株式会社マイファーム 農業労働力確保支援事務局

TEL：050-3333-9769 / メール：roudouryoku@myfarm.co.jp

農林水産省 経営局就農・女性課 雇用グループ TEL：03-6744-2160

応募要領は以下URLか右のQRコードからご確認いただけます。

（㈱マイファームホームページ内）<https://myfarm.co.jp/roudouryoku/r6/t/>



産地間連携等の支援経費・取組事例

支援対象となる取組・支援経費の例

★は取組必須項目

1.取組の推進体制の構築

- 労働力確保に向けた取組内容の検討
[会議開催のための資料印刷費、会場借料等]
- 他産地と連携する仕組みづくり
[産地間連携の仕組みづくりに向けた試行調査のための旅費等]

★2.労働力の需給状況の把握

- 労働力ニーズの詳細や地域の状況の把握
[調査のための旅費、人件費等]

★3.労働力の確保・育成

- 求人広告の掲載
[求人広告の掲載費用]
- 就職説明会への出展やイベントの開催
[出展料、会場借料、PR資料作成の印刷費等]
- 応募した労働者に対する研修会の開催
[研修会開催のための謝金、旅費、会場借料等]
- 他産地・他産業との労働力融通 **旅費支援**
[確保した労働者の交通費・宿泊費等]

4.労働力等のマッチング・データベース化

- 労働力のデータベースの作成
[データベース構築に必要な委託費、役務費、臨時雇用賃金等]
- 人材派遣会社等のノウハウの活用
[人材派遣会社から労働力斡旋の助言を受ける場合の費用]

5.農業の「働き方改革」への取組

- 働き方改革に関するセミナーの開催
[会場借料、講師の謝金・旅費等]
- 労働環境改善等に関する専門家による助言
[労務管理等の専門家から助言を受ける場合の費用]

取組事例のご紹介

多様な働き方に合わせた農作業のマッチング とかちアグリワーク（北海道）

1日単位から農業バイトを行えるアプリを導入。
学生、主婦、副業等、幅広い層から人材を確保。

- 短期で働きたい人を取り込むため、1日農業バイトアプリを導入。
- アプリ利用者を拡大するため、農家（求人者）向けのアプリ操作説明動画、求職者向けの農作業説明動画を作成し、PRを実施。

取組内容



アプリの操作方法
説明動画



農作業説明動画
アルバイトの検討材料、
事前学習用として活用



アプリを介して求人農家と
求職者がマッチング

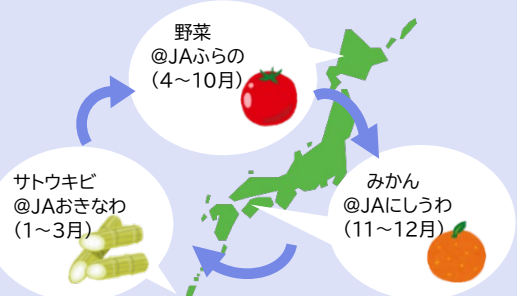


産地間連携による人材確保 西字和農業協同組合（愛媛県）

繁忙期の異なる複数産地で連携し、農繁期に必要なアルバイトを確保。

取組内容

- 3JA共同で、人材募集チラシの作成・求人サイトへの求人情報掲載等を行いアルバイトを募集。
- 従事中のアルバイト向けに、他地域の担当者が現地へ赴き業務説明会を開くなど、移動先の産地でスムーズに農作業に従事できるよう工夫。



農林水産省facebookでも取組事例を紹介しています！



「農水省・農業経営者net」▶ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

第1弾 JA新おたる
2022年12月21日掲載記事



第3弾 株式会社清水農業振興公社
2023年2月17日掲載記事



第2弾 株式会社エヌ
2023年2月10日掲載記事



第4弾 株式会社キャベツ振興事業協同組合
2023年2月24日掲載記事

